



第2回公開シンポジウム

対話が誘う  
文理融合  
の世界

ガウ  
ディ

Math <sup>イ</sup> Gaudi

© Hiroya Tanaka



を数理科学する

- 13:00~13:30 受付
- 13:30~13:35 開会 開会の辞 副学長 小川知之 (明治大学)
- 講演** 13:40~15:10 **第一部** 司会 俣野 博 (明治大学)
- 「ガウディの幾何学とコードの世界」  
(第37回 MIMS/CMMA 現象数理学コロキウム)  
田中裕也 氏 (ガウディ研究者)
- 「美意識と幾何学 —ガウディの作品から触発されるもの—」  
砂田利一 (明治大学)
- 15:10~15:30 休憩
- 座談** 15:30~16:00 **第二部**
- 「ガウディ meets 数理科学 —未来に広がるガウディの世界—」  
田中裕也 氏・砂田利一・杉原厚吉 (明治大学)・俣野 博
- 16:00~16:20 会場からの質問
- 16:25 閉会の挨拶 山口智彦 (明治大学)
- 16:30 閉会

講演者

「ガウディの幾何学とコードの世界」

(第37回 MIMS/CMMA 現象数理学コロキウム)

田中 裕也 氏

ガウディ研究者、建築家、実測家、工学博士



ガウディの作品を測量すると、随所に隠れた数学・幾何学(コード)が潜んでいることが分かってきました。今回、ガウディ作品に潜んだ「コード」について、時間の許す限りご紹介いたします。

バルセロナ日本総領事公官賞、ガウディ・グレンソール賞、アカデミア賞国際部門受賞。著書「ガウディ・コード、ドラゴンの瞳」長崎出版、ほか。

「美意識と幾何学

—ガウディの作品から触発されるもの—」

砂田 利一

明治大学教授、先端数理科学インスティテュート副所長



「形」の数学である幾何学が、建築や絵画など、「美」に係わる芸術と相互作用してきた歴史を振り返り、数理科学の視点に立つことで見えてくる「美」の世界を紹介しながら、ガウディの建築の魅力を語ります。

日本数学会彌永賞、藤原洋数理科学賞大賞、文部科学大臣表彰(科学技術賞)受賞。著書「ダイヤモンドはなぜ美しい?」シュプリンガー・ジャパン、ほか。

日時: 2018年9月8日(土) 13:30~16:30

会場: 明治大学駿河台キャンパス

グローバルフロント グローバルホール

※ 入場無料。事前に参加申込をお願いします。  
申込フォームはこちら→  
<https://goo.gl/forms/Kf3tMjEPZ1eBTZ7k2>



主催: 明治大学

文部科学省 平成28年度私立大学研究ブランディング事業採択「Math Everywhere: 数理科学する明治大学 -モデリングによる現象の解明-」

明治大学先端数理科学インスティテュート

後援: スペイン大使館



◆シンポジウム情報掲載Webページ◆

<http://www.meiji.ac.jp/koho/math-everywhere/symposium2018-09/>



◆お問い合わせ◆

明治大学先端数理科学インスティテュート

〒164-8525 東京都中野区中野4-21-1 明治大学中野キャンパス 8階

E-mail: [mims@mics.meiji.ac.jp](mailto:mims@mics.meiji.ac.jp) Web site: <http://www.mims.meiji.ac.jp/index.html>